



馬房でのグレイテストソング

小島友実の あの馬の STORY



グレイテストソング

6月15日の函館12レースでグレイテストソングが直線で力強く抜け出し1着でゴールイン。連勝を決めました！

グレイテストソングは会員の皆様にはおなじみの血統馬ですよね。祖母アースリヴィング、その娘のシネマソングスとともにグリーンファーム所属でダート戦を舞台に大活躍。グレイテストソングはシネマソングスの初仔で、祖母、母に続いて小笠倫弘調教師が手掛けています。

「筋肉質な感じで重心が低いタイプ。血統的にもダートの中距離なかなと思っています。顔つきがキリッとしているところがシネマソングスに似ていますね。この血統は祖母のアースリヴィングから気持ちで走るタイプが結果を出す事が多いです。この馬も前向きさがあるので、レース結果につながればと感じます」

1歳馬募集時の取材でグレイテストソングについて話していた小笠調教師。その言葉通り、ダートの中距離で気持ちの入った走りを見せています。

初戦は1月12日の中山ダート1800m。13番人気を覆しての2着好走でした。

「出馬ラッシュの頃であちこち除外になるのではと考えていたのですが、1回目の抽選で入ったので正直、前倒しの形でデビューでした。それでも勝負根性がある感じの追い切りを見せていたので、実戦向きかなと思っていました。実際、レースでは中団から伸びてきて、素質の高さを感じさせてくれた一戦でしたね」

短期放牧を挟んで臨んだ2戦目も中山ダート1800mに出走し、2着でした。

「初戦より追走できましたし、進歩を感じるところだと思っています」

2戦目の後は厩舎で調整。3戦目と合わせた4月6日の中山ダート1800mで初勝利を挙げました。

「初戦から手綱を取っている佐々木大輔騎手がとても落ち着いて乗ってくれたという印象です。直線で窮屈な場面がありました。グレイテストソングは闘志満々で抜け出しました。好タイムでの勝利でしたし、良い内容だったと思います」

初勝利後、短期放牧から美浦トレセンに戻っていたグレイテストソングは6月5日、会う事ができました。アースリヴィングとシネマソングスを担当していた坂田厩務員は定年で退職されたこの事で、現在が八月朔日。仲も持乗調教師が担当しています。普段のグレイテストソングの様子を聞きました。

「運動や調教では素直で乗りやすくて、速いところに行くところを感じます。馬房ではこちらからというところになっています。でも少し難しい面があり、こちらが油断していると噛んでくる時があります(笑)。現段階で脚元や内臓面に心配なところはないです」

小笠厩舎が開業した頃から在籍しているという八月朔日持乗調教師は以前、攻専調教師としてアースリヴィングやシネマソングスの追い切りに乗った経験があるこの事。シネマソングスと乗り心地は少し違いますが、走る事に対して前向きなところや、普段の性格が似ていると感じます。シネマソングスも人懐っこいわりには急に噛んでくる時があり、まだだからねと話しています。

八月朔日持乗調教師に「グーちゃん」と呼ばれていたグレイテストソング。馬房ではリラックスしている時に、この鼻を左右に動かす仕草を見せていて、可愛かったです。

この取材後に函館競馬場へ入厩していたグレイテストソングが昇級初戦で勝利したのは前述の通り。小笠調教師に現段階での評価や今後について伺いました。

「4300m前後で、それほどダート馬ではない体力のある感じではないものの、並外れた勝負根性を持っています。母から気持ちの強さを受け継いでいますね。体のフレームがコンパクトなので今後どのくらい成長するかですが、4戦目の後に佐々木騎手がこの上のクラスでも通用する脚力を持っていると話していました。このまま滞在して2勝クラスに向かいます。まずは北海道であと1勝できればと思っています。準オープンくらいまでは行ってくれるのではないのでしょうか。順調にステップアップしてほしいです」

最後にメッセージを頂きました。

「アースリヴィング一族は、これまでずっと管理させて頂きグリーンファームさんには本当に感謝しています。今後もグレイテストソングの走る気持ちを折らないように調整して、キャリアを積んでいく事に留意してあげたいです。まだ3歳で今後、楽しみな未来があることを期待しています。応援よろしく願っています」

デビュー2戦目から3戦連続、上がり3ハロタイム1位をマークしているグレイテストソング。このままでのレース内容から今後も本気に楽しんでいます。

profile

競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2024年「馬場のすべて教えます2(主婦の友社刊)」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。